

1. 系列変更

次の変更を希望する学生は、3 回生以降に所属学部の教務掛で所定の手続きを行ってください（印鑑持参のこと）。文学部学生が、文学部学生便覧に記載の基礎教育科目を全学共通科目に変更するとき。（手続き期間は、4 月初旬及び 10 月初旬のみ。詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲示します。）

2. 転学部及び転学科

転学部及び転学科は、学部により転入の取扱い条件が異なります。希望する場合は、所属学部の教務掛で所定の手続きをしなければなりません。出願は 1 学部（学科）に限られており、出願後の取消しはできませんので十分検討したうえで出願してください。

転学部及び転学科の手続きは、「資格照会手続き」の後、有資格者には出願書類が交付されます。各学部の取扱い条件及び手続きの詳細については、9 月下旬に掲示によりお知らせします。

3. 教育職員免許状の取得について

将来、高等学校、中学校または特別支援学校の教員になることを希望する学生は、「Campus Life Information」（京都大学発行）を参照するとともに、4 月 6 日（木）、4 月 12 日（水）及び 5 月 12 日（金）に開催予定の教職課程オリエンテーションに必ず出席してください。また、教育職員免許状取得について不明な点があれば、所属学部の教務掛へ問い合わせてください。

教育免許状取得希望者は、教育職員免許法に定められた「教科に関する科目」、「教科または教職に関する科目」、「教職に関する科目」及び「全学共通科目」から指定された科目の単位を修得することによって、教員の免許状を取得する資格を得ることができます。

「教科に関する科目」の単位は所属学部等で開講している授業科目の中から、これに対応する科目の単位を充当します。

「教科または教職に関する科目」については、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」の必要単位数を超えて修得した場合、その単位を当該単位として充当します。

「教職に関する科目」の単位は教育学部で開講されている授業科目の中から、指定された科目を履修し、単位を修得してください。※平成 22 年度学部入学者から、教職総合演習（平成 24 年度を以って廃止）に替わる科目として教職実践演習（平成 25 年度後期から開講）を履修（必修）しなければなりません。

全ての教科《国語、社会、数学、理科等》について「教科に関する科目」、「教科または教職に関する科目」、「教職に関する科目」のほかに全学共通科目から次の科目を履修してください。

- ・「日本国憲法」2 単位
- ・「体育」3 単位以上：健康科学 I（旧「健康科学」平成 27 年度科目名変更）・II、健康心理学 I・II、運動科学 I（旧「運動科学」平成 27 年度科目名変更）・II、運動医科学、体力医科学、の中から 1 科目とスポーツ実習（IA・IB・IIA または IIB の中から 1 科目）の両方とも必要、なお、旧健康科学と運動医科学は平成 24 年度修得分から認定。
- ・「外国語コミュニケーション」2 単位：英語リーディング、英語ライティング・リスニング（平成 27 年度以前入学者は英語 I・II）、ドイツ語 I・II、フランス語 I・II、中国語 I・II、ロシア語 I・II から選択
- ・「情報機器の操作」2 単位（所属学部を確認すること）

中学校教諭免許状取得希望者は、特別支援学校での 2 日間と社会福祉施設等での 5 日間、合計 7 日間の「介護等体験」が必要になります。

4. 学芸員となる資格取得について

(1) 学芸員の職務

博物館法に基づく専門的職員で、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。

(2) 学芸員の資格

学芸員となるには、学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければならない。

(3) 大学において修得すべき博物館に関する科目の単位

博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項第1号の規定により大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と本学において開講される科目との関係を示すと以下のとおりである。

法令上の科目	単位数	本学該当科目	開講部局	備考
生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ	教育学部	教育学部専門科目 ※どちらか一方選択必修。 (H29年度は生涯学習概論Ⅰ不開講)
博物館概論	2	博物館学Ⅰ	文学部	文学部専門科目
博物館経営論	2	博物館学Ⅱ		
博物館資料論	2	博物館学Ⅲ		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	全学共通 科目	
博物館展示論	2	博物館展示論		
博物館教育論	2	博物館教育論		
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論		
博物館実習	3	博物館実習（文化史） ：2単位	全学共通 科目	※どちらか一方選択必修。 ※博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうち2科目修得済みであること。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。） ※博物館実習（文化史または自然史）を修得済みであること。詳細については、シラバスを参照のこと。 ※増加単位（卒業単位には算入されない。）
		博物館実習（自然史） ：2単位		
		博物館実習（館園実務） ：1単位		

5. 吉田南総合図書館の利用案内

吉田南総合図書館は、吉田南構内各部署の図書館であると同時に、全学共通科目にも対応した図書館です。充実した新書・文庫コーナーや東西の名著を集めたグレート・ブックスコーナー、映画やドキュメンタリー等の映像ソフトを備えた視聴覚室をはじめ、幅広いジャンルの資料を提供しています。68万冊の資料とサービスでみなさんの学習・研究活動をサポートします。

・ホームページ：<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/>



開館日と開館時間

- ・月-金 9:00-20:00
- ・土 10:00-15:00

休館日

- ・日曜日
 - ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
 - ・本学創立記念日(6/18)
 - ・冬季休業期間 ・卒業式の翌日~4/3
 - ・8/11~20 ・定例休館日
- ※ 定例休館日および臨時休館は、その都度、図書館ホームページやtwitter、掲示でお知らせします。

入館・退館

- ・入館ゲートを通るには利用証が必要です。
- ・学生証が利用証となります。
- ・手続きなしで図書館資料を持ち出された場合はアラームでお知らせします。



入館ゲート



自動貸出機

貸出

カウンター及び自動貸出機で貸出手続きができます。

開架図書	5冊/2週間
書庫内図書	10冊/2週間
雑誌	5冊/1週間

- ※ 参考図書や新聞のバックナンバーは当日の開館時間内に限り、館外へ持ち出すことができます。
- ※ 特別貸出：夏季・冬季・春季には、休館等に応じて貸出期間の延長を行います。

返却

返却はカウンターまでお願いします。休館時は図書館入口横のブックポストに返却してください。

- ※ 返却期限日を過ぎても返却されない場合、新たな貸出はできず、延滞日数の分だけ貸出停止となります。他の利用者の方の迷惑にもなりますので、必ず返却期限はお守りください。

貸出の予約

必要とする資料が他の利用者に貸出されている場合、1人5冊まで予約することができます。ご希望の方は、MyKULINE（マイクライン）でお申し込みください。

貸出の更新

他の利用者の予約がない場合、貸出中の図書は1回に限り更新（貸出期間の延長）することができます。貸出期間内にMyKULINEで手続きするか、利用証をカウンターまでご持参ください。雑誌の更新はできません。

オンラインサービス（MyKULINE）

Webから図書の予約や貸出更新、文献の取寄せ申込み等ができる便利なサービスです。

情報環境機構の利用コード（ECS-ID. a0*****）がオンラインサービスのログインIDになります。

- ・オンラインサービス（MyKULINE）について
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/service/12718>

資料の探し方

京都大学で所蔵している図書や雑誌をKULINE（クライン：京都大学蔵書検索システム）で検索することができます。

- ・KULINE（クライン）
<http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

学内で利用できる電子ジャーナル/データベース

京都大学では、Webで利用できる資料がたくさんあります。文献収集に活用してください。

- ・学内で利用できる電子ジャーナル
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13502>
- ・学内で利用できるデータベース
<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/erdb/13501>

調査・相談

資料の調べ方が分からないとき、必要な資料が図書館にないときは、お気軽にスタッフまでご相談ください。また、文献の取り寄せ方法についてもご案内します。

館内の施設・設備

1階・2階

1階及び2階に閲覧席があります。自由にご利用ください。和書(新分類:日本十進分類表新訂8版)と洋書(新分類)、新着雑誌を配架しています。

参考図書、大型本、各種文庫・新書、グレート・ブックス、英語学習、吉田南構内関連部局の教員及び関係者図書等は別置しています。

カウンター近くには新着図書コーナー、KULINE 検索用パソコンがあります。



1階 閲覧席



2階 大閲覧室



1階 KULINE 検索用 PC



1階 グレート・ブックスコーナー

視聴覚室 (1階)

映画、ドキュメンタリー、語学資料のDVD等、視聴覚資料が利用できます。

※ 視聴覚室内の資料は館外貸出できません。

※ 持込資料のご利用はできません。

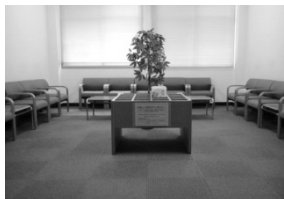
新聞閲覧室 (1階)

新聞閲覧室には、国内外の主要な新聞を備え付けています。(バックナンバーは1年分を保存しています。ご利用希望の方はカウンターまでお申し出ください。)

朝日新聞 / 毎日新聞 / 読売新聞 / 京都新聞 / 日本経済新聞 / 産経新聞 / 日刊工業新聞 / 図書新聞 / 週刊読書人 / The Japan Times / The Times / Le Monde / Frankfurter Allgemeine / International New York Times / 人民日報 / 光明日報



1階 視聴覚室 2



1階 新聞閲覧室

情報環境機構 OSL (2階)

情報環境機構(学術情報メディアセンター)のオープン・スペース・ラボラトリ(OSL)として、インターネットに接続できるPC端末28台と、電源を備えた席を利用できます。館内では無線LANを敷設しており、持ち込みPCなどをインターネットに接続させることができます。



2階 OSL



2階 ベランダ

ドリンクポリシー

OSLを除く館内の閲覧室等では、完全に密閉でき、倒しても中の飲料がこぼれない容器(水筒、ペットボトル等)に限って飲料摂取を認めています。喫煙、食事はできません。館内環境の維持にご協力をお願いします。

地下書庫 (地階)

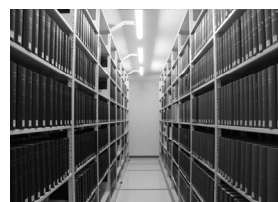
和洋図書(新・旧分類)、和雑誌等を配架しています。カウンターで入庫手续が必要です。

南棟書庫 (吉田南総合館地階)

洋図書(新・旧分類)、洋雑誌を配架しています。カウンターで入庫手续が必要です。



地階 地下書庫

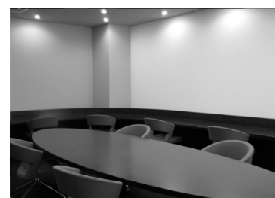


吉田南総合館地階 南棟書庫

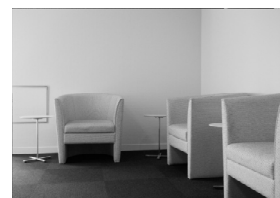
環 on (わおん) (人間・環境学研究所棟1階東)

「環 on」は個人・グループでの学習や研究会での利用を目的とした「話せる図書館」です。カウンター席やくつろぎスペース、グループ学習室があります。電源席を備え、無線LANを敷設しています。

・利用時間: 月-金 9:00-17:00



環 on 多目的スペース



環 on くつろぎスペース